人へ、街へ、未来へ。
東急電鉄

2026年9月18日

東横線都立大学駅構内トイレの供用を開始します

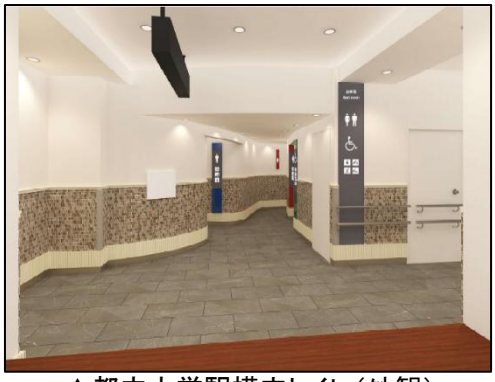
東急電鉄株式会社

当社は、駅構内トイレの新設・リニューアルにおいて、機能の拡充による更なる利便性向上や、多機能トイレに利用者が集中しないための機能分散に取り組んでいます。このたび、リニューアル工事を進めてきた東横線都立大学駅の駅構内トイレ（以下、本トイレ）を2026年9月25日（金）初電から供用を開始します。

工事期間中はご協力いただきまして誠にありがとうございました。

本トイレのコンセプトは、「まちとゆとりとたまりを育むトイレ」「誰にでもどんなときにも安らぎが感じられるトイレ」を目指し、「まちと駅をつなぐ小休止の場」としました。エレベーターやベンチ周辺を含めて空間全体を見直し、「小休止の場」となるような計画や、限られた空間の中でも圧迫感を抑え、落ち着いて利用できるよう、“安らぎ”を感じられる工夫を取り入れました。

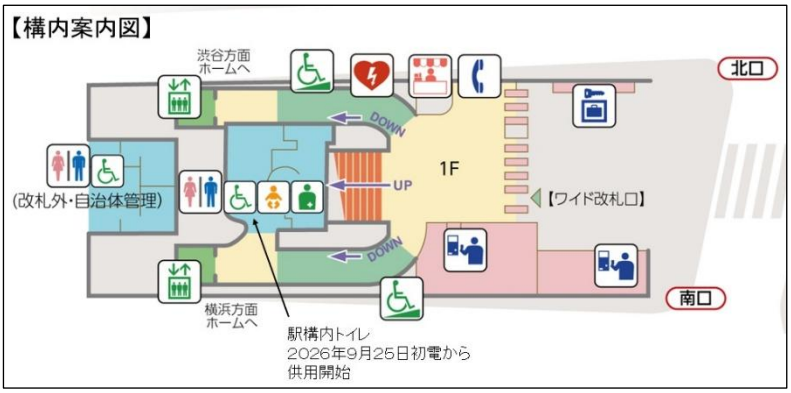
また、ベビーカーが入れる広さを備えたブースを男性用トイレと女性用トイレに設置し、乳幼児をお連れのお客さまも便利で快適にご利用いただけるようにしました。



▲都立大学駅構内トイレ（外観）



▲都立大学駅構内トイレ（内観）



（今後の予定）

当社ではあらゆるお客さまがご利用しやすい鉄道サービスを目指し、各駅構内トイレにおける「3つの100%」※1を完了するなど、ユニバーサルサービスの拡充に関する取り組みを推進しています。

また、東急株式会社が策定した「環境ビジョン2040」※2では、住み続けられるまちづくりの実践として循環型社会を目指し2040年度の水使用量を2019年度比で30%削減する目標を掲げています。

今後もユニバーサルサービスの拡充を推進し、時代に即した社会価値の持続的な提供を目指します。

※1　東急線駅構内トイレ「3つの100%」完了しました！：詳細はこちらから

※2　脱炭素・循環型社会の実現に向けた「環境ビジョン2040」を策定：詳細はこちらから

以　上